

# 岩見沢市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

岩見沢市は北海道の中西部に位置する、空知管内の中心都市であり、人口は81,857人(平成30年11月末現在)、総面積は481.02km<sup>2</sup>で、市域の西部には平野が広がり、東部には低山性の山々が連なっている。また札幌市と旭川市を結ぶ国道12号、高速自動車道が通っており、札幌市まで車で約45分、新千歳空港を有する千歳市まで約60分の圏域である。

他の地方都市と同じように岩見沢市においても人口減少や少子高齢化、自家用車の普及などによる路線バス利用者の減少が続いており、路線の維持確保のための市補助金の負担も増加していることから、平成27年1月に地域公共交通活性化協議会を設置し、同年4月に「岩見沢市生活交通ビジョン」、平成28年6月に「地域公共交通網形成計画」、平成29年6月には「地域公共交通再編実施計画」(同年9月8日に国土交通省の認定)を策定し、平成29年10月1日に主要な生活交通手段であるバス路線(北海道中央バス)の見直しを行った。岩見沢市においては、平成27年1月に地域公共交通活性化協議会を設置し、同年4月に「岩見沢市生活交通ビジョン」、平成28年6月に「地域公共交通網形成計画」、平成29年6月には「地域公共交通再編実施計画」(同年9月8日に国土交通省の認定)を策定し、平成29年10月1日に主要な生活交通手段であるバス路線(北海道中央バス)の見直しを行った。

岩見沢市の公共交通においては、札幌や旭川と結ぶJR函館本線、苫小牧と結ぶJR室蘭線、南空知の他市町につながる地域幹線系統を幹線として、それらと接続するフィーダー系統(市内:路線型)やデマンド型乗合タクシーなどの新たな公共交通を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

| 指標          | 現況値(平成26年)   | 目標値(平成32年)   |
|-------------|--------------|--------------|
| 市内バス路線総乗車人数 | 1,151,570人/年 | 1,200,000人/年 |

## 平成30年度事業概要

### ■フィーダー系統の運行

|               |                 |                        |
|---------------|-----------------|------------------------|
| (1)かえで団地循環線   | (運賃:一律190円)     | 【運行日数:平日239日/土日祝日124日】 |
| (2)日の出台・栄町循環線 | (運賃:一律190円)     | 【運行日数:平日239日/土日祝日124日】 |
| (3)鉄北循環線      | (運賃:一律190円)     | 【運行日数:平日239日/土日祝日124日】 |
| (4)南町・春日循環線   | (運賃:一律190円)     | 【運行日数:平日239日/土日祝日124日】 |
| (5)幌向線        | (初乗190円:最大440円) | 【運行日数:平日239日/土日祝日124日】 |

## 地域公共交通の現況

- ・JR函館線(岩見沢駅、上幌向駅、幌向駅)
- ・JR室蘭線(岩見沢駅、志文駅、栗沢駅、栗丘駅)
- ・北海道中央バス(市内運行14路線)
- ・(有)新篠津交通(市内運行1路線)
- ・市営バス(2路線)
- ・市営住民混乗バス(6路線)
- ・デマンド型乗合タクシー(岩見沢北地区)

## 協議会開催状況

### ■平成30年6月25日 第1回協議会を開催 (主な協議事項)

- ・平成30年度事業計画及び予算案
- ・平成31年度フィーダー計画案

### ■平成31年1月9日 第2回協議会を開催 (主な協議事項)

- ・地域公共交通再編実施計画の一部変更
- ・事業評価

# 平成30年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

- ・JR、地域間幹線系統につながる市内線として4つの循環線を運行。
- ・循環線については、両回りを運行することで、便数の減少に対して利便性を向上させた。
- ・循環線を全てターミナル以外の乗換拠点となる「であえーる」を経由させ、乗継しやすい環境を整備。
- ・循環線においては終発便を21時以降に設定し、であえーる前に集積する学習塾に通う生徒の足を確保。
- ・幌向線については、幌向地区から総合病院である岩見沢市立病院までのアクセスを優先させて運行。
- ・平成30年度においては、再編から1年を経過した時点での評価を行うため、市内を運行する民間バスの全路線全便を対象とした乗降調査及びOD調査を実施したほか、無作為に抽出した市民5,000名に対する公共交通に関するアンケート調査を実施。

## 2) 運行系統

### (1) かえで団地循環線

- ・東高先回り
- ・国道先回り ・岩見沢ターミナル～国道12号～かえで団地<再編特例>

### (2) 日の出台・栄町循環線

- ・日の出台先回り ・岩見沢ターミナル～6条通～日の出台<再編特例>
- ・栄町先回り ・岩見沢ターミナル～栄町～5条東18丁目<再編特例>

### (3) 鉄北循環線

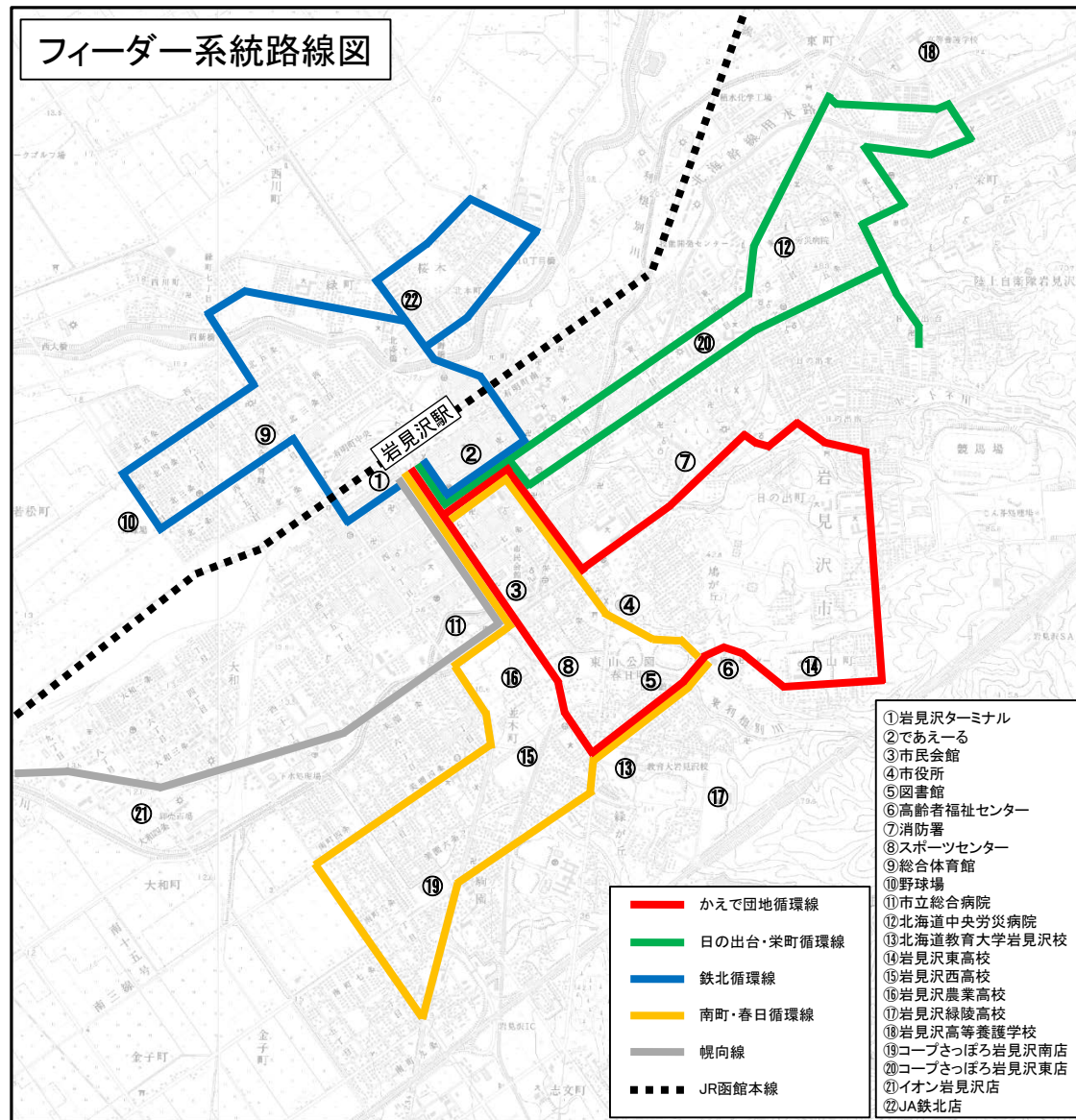
- ・鉄北先回り(桜木経由) ・鉄北先回り<再編特例>
- ・であえーる先回り(桜木経由) ・であえーる先回り<再編特例>

### (4) 南町・春日循環線

- ・美園先回り ・岩見沢ターミナル～美園町～南町7条3丁目<再編特例>
- ・市役所先回り ・岩見沢ターミナル～市役所～木工団地<再編特例>

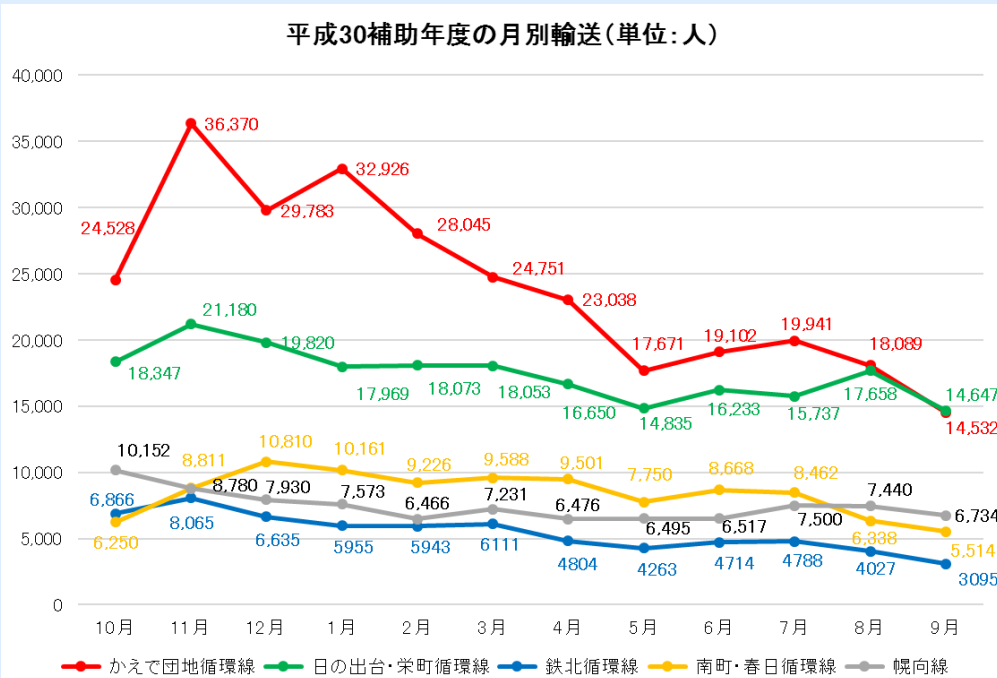
### (5) 幌向線(岩見沢ターミナル⇄南4条つくし公園) <再編特例>

## フィーダー系統路線図



### 3) 利用実績

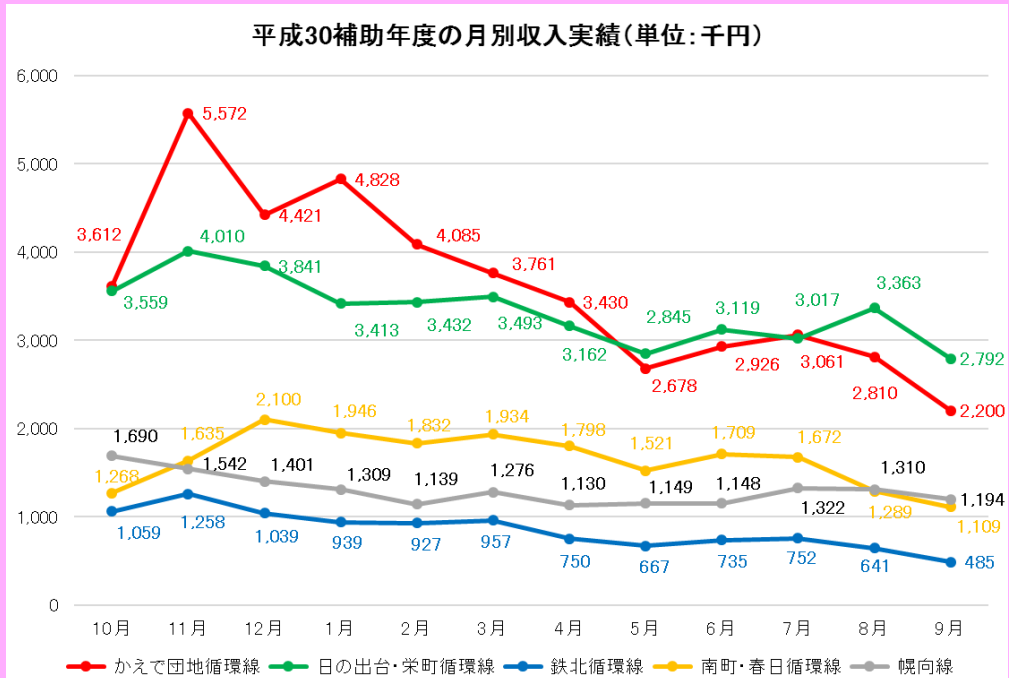
◆平成30補助年度(H29.10~H30.9)の月別輸送人員  
(フィーダー系統を含む路線全体)



|        | かえて団地循環線 | 日の出台・栄町循環線 | 鉄北循環線  | 南町・春日循環線 | 幌向線    |
|--------|----------|------------|--------|----------|--------|
| 年間輸送人員 | 288,776  | 209,202    | 65,266 | 101,079  | 89,294 |
| 月平均    | 24,065   | 17,434     | 5,439  | 8,423    | 7,441  |

### 4) 収入実績

◆平成30補助年度(H29.10~H30.9)の月別収入実績  
(フィーダー系統を含む路線全体)



|      | かえて団地循環線 | 日の出台・栄町循環線 | 鉄北循環線  | 南町・春日循環線 | 幌向線    |
|------|----------|------------|--------|----------|--------|
| 年間収入 | 43,384   | 40,046     | 10,209 | 19,813   | 15,610 |
| 月平均  | 3,615    | 3,337      | 851    | 1,651    | 1,301  |

## 5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

### ◆市内バス路線総乗車人数

輸送量が目標に及ばなかったものの、運休や遅延等の利便性の低下要素も少なく、効率的で安定した運行といった路線再編の効果があつた。

### 【市内バス路線総乗車人数】

目標値(H32): 1,200,000 人/年

実績値(H30): 876,944 人/年

(参考数値①) 1便あたりの利用人数

13.48人/便(H26調査)⇒14.42人/便(H30調査)

(参考数値②) キロ当たりの利用者数

2.07人/便(H26調査)⇒2.29人/便(H30調査)

## 7) 事業の今後の改善点

●今年度については児童向けのモビリティマネジメント(バスの乗り方教室)を実施したが、高齢者向けのモビリティマネジメントのほか、バスの利用価値を向上させる利用促進策をすすめる必要がある。

## 8) 地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果(案)

運輸局記載欄